

NEWS

神戸医療産業都市推進機構 今井 眞一郎 老化機構研究部特任部長が、2020年岡本国際賞を受賞されました

当機構の今井 眞一郎特任部長（兼 ワシントン大学医学部教授）が、「岡本国際賞」の受賞者に選ばれました。同賞は健康な寿命の達成に貢献し、加齢に伴い起こる疾患などの克服を目指すために、大きな成果を上げた国内外の研究者に贈られます。

今井 眞一郎特任部長は、当機構において、哺乳類の老化・寿命のメカニズム解明を目指した研究を進めるとともに、老化を防ぎ、健康寿命をのばすことが期待されている抗老化候補物質「NMN」に注目し、この分野の第一人者として成果を挙げられています。

国際社会における重要な課題の一つである、健康長寿社会の実現に向け、当機構における今後の研究の進捗も大変注目されています。



今井 眞一郎
老化機構研究部特任部長

※NMN（ニコチンアミド・モノヌクレオチド）とは

老化による様々な機能の減退と、それによって起こる病気の原因として、「NAD（ニコチンアミド・アデニン・ジヌクレオチド）」という物質（人間を含め全ての生物が持っているエネルギーを生み出すのに必須の物質）の減少が重要であることがわかってきており、NAD を補えば、抗老化に大きな効果があることが数多くの動物実験によって証明されています。その NAD を体の中で増やすためには、NAD が作られる一步手前の物質「NMN」を補充するとうまくいくことが、2011 年に発表された今井教授のグループによる研究で分かりました。「NMN」を補充することにより体の中で「NAD」に変換され、体の様々な機能が改善されることが分かってきており、ヒトにおける臨床研究も国内外で進んでいます。

■公益財団法人 健康加齢医学振興財団

2020 年岡本国際賞

<https://www.fbri-kobe.org/pdf/kenkoukareigaku.pdf>

■神戸医療産業都市推進機構 老化機構研究部 HP

<https://www.fbri-kobe.org/laboratory/research2/>

